

株主・投資家の皆様へ

# 第24期 株主通信

2015年1月1日から2015年12月31日まで

## Contents

株主の皆様へ	01
事業の概況	02
連結財務諸表	03
特集	04
シークスグローバルネットワーク	07
トピックス	09
株式の状況	10
役員の状況	10

シークス株式会社

証券コード 7613



代表取締役会長  
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第24期株主通信をお届けするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の経済環境を顧みますと、米国では、雇用の改善が続く中、景気は引き続き堅調に推移しており、ユーロ圏においても、景気は緩やかに回復しております。こうした一方、「新常态」へ向け構造改革が続く中国は、成長鈍化により景気が緩やかに減速し、新興国においても通貨安や内需に弱含みの傾向が見られます。日本では雇用情勢の改善等により個人消費は総じて底堅い動きとなっており、景気の回復基調は概ね維持されているものの、幾つかの指標で足踏み感も出てきております。

このようなマクロ経済情勢の中、戦略的に取り組んでいる自動車の電装化、自動化を見据え車載関連機器の出荷がグローバルベースで拡大し、業績を牽引いたしました。またジャカルタ工場も初めて黒字化を果たす等、二期連続で営業利益、当期純利益が共に過去最高となりました。

7月に資本市場より調達いたしました長期資金は、戦略的拠点であるメキシコ工場の増強等に活用しており、当社の成長戦略を盤石にして参ります。また、戦略的テーマとして掲げております「在庫の削減」、「グローバル調達力の向上」などについて、全社一丸となって成果を早期に上げて参ります。このような課題を効果的に対処するため、2016年1月に本社にアセアン統括室を設置し、まずはアセアン地区の購買力の向上や物流機能のマネジメントなどを行って参ります。

当社は9期連続で増配を継続しておりますが、今後も株主の皆様への還元に確りと取り組んで参る所存です。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

2016年3月

代表取締役会長  
村井史郎

## ハイライト

第23期 2014年12月

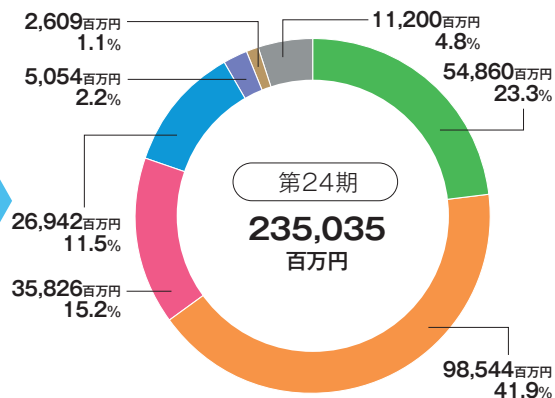
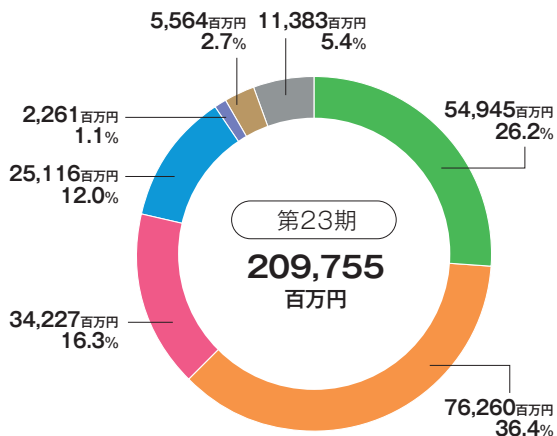
売上高 **2,097億5千5百万円**  
 営業利益 **62億3千3百万円**  
 当期純利益 **41億3千1百万円**

第24期 2015年12月

売上高 **2,350億3千5百万円**  
 営業利益 **89億1千3百万円**  
 当期純利益 **67億1千7百万円**

## 品種別の状況

- 家電機器** [デジタル家電、白物家電等]
- 車載関連機器** [車載電装品、カーオーディオ等]
- 産業機器** [汎用エンジン用基板等]
- 情報機器** [スキャナー、プリンター等]
- 通信機器** [携帯電話用部材等]
- 一般電子部品**
- その他**



# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2015年12月31日現在)	(2014年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>84,759</b>	<b>78,855</b>
固定資産	<b>25,197</b>	<b>24,574</b>
有形固定資産	<b>16,444</b>	<b>17,107</b>
無形固定資産	<b>491</b>	<b>458</b>
投資その他の資産	<b>8,261</b>	<b>7,008</b>
資産合計	<b>109,957</b>	<b>103,429</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>47,166</b>	<b>53,398</b>
固定負債	<b>13,050</b>	<b>8,533</b>
負債合計	<b>60,217</b>	<b>61,932</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>43,269</b>	<b>32,958</b>
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,624	1,853
利益剰余金	35,528	29,638
自己株式	△ 27	△ 677
その他の包括利益累計額	<b>6,316</b>	<b>8,352</b>
その他有価証券評価差額金	610	658
繰延ヘッジ損益	4	△ 1
為替換算調整勘定	5,916	7,898
退職給付に係る調整累計額	△ 215	△ 203
少数株主持分	<b>154</b>	<b>187</b>
純資産合計	<b>49,739</b>	<b>41,497</b>
負債・純資産合計	<b>109,957</b>	<b>103,429</b>

## 連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2015年1月1日から 2015年12月31日まで)	(2014年1月1日から 2014年12月31日まで)
売上高	235,035	209,755
売上原価	215,319	194,631
売上総利益	<b>19,715</b>	<b>15,123</b>
販売費及び一般管理費	10,802	8,889
営業利益	<b>8,913</b>	<b>6,233</b>
営業外収益	812	732
営業外費用	723	505
経常利益	<b>9,002</b>	<b>6,460</b>
特別利益	—	76
特別損失	—	—
税金等調整前当期純利益	<b>9,002</b>	<b>6,537</b>
法人税、住民税及び事業税	2,436	1,952
法人税等調整額	△ 127	486
少数株主損益調整前当期純利益	<b>6,693</b>	<b>4,098</b>
少数株主損失(△)	△ 24	△ 32
当期純利益	<b>6,717</b>	<b>4,131</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2015年1月1日から 2015年12月31日まで)	(2014年1月1日から 2014年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>7,996</b>	<b>2,374</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ <b>5,113</b>	△ <b>2,827</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>3,352</b>	△ <b>1,286</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ <b>259</b>	<b>692</b>
現金及び現金同等物の増減額	<b>5,976</b>	△ <b>1,047</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>6,497</b>	<b>7,518</b>
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	<b>26</b>
現金及び現金同等物の期末残高	<b>12,473</b>	<b>6,497</b>

※連結貸借対照表・連結損益計算書・連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

# グローバル・ビジネスの 一層の強化を目指して アセアン統括室を設置

アセアン経済共同体(AEC)の発効をはじめとする環境変化を背景に、シークスは、2016年1月、アセアン統括室を設置しました。この特集では、アセアン統括室の設置の狙いや意義、製造拠点および市場としてのアセアンの特徴、魅力などについてご紹介します。



## 「ブロック化経営」をスタート

2015年末、アセアン経済共同体が発効したことにより、アセアン域内ではヒト・モノ・カネの動きが自由化し、その成長が促進されることが期待されています。また、全世界をフィールドにビジネスを展開するシークスにとって、アセアンは、当社の事業の原点となった旧・阪田商会によるテレビ用電子部品の輸出先であるとともに、顧客所在地別連結売上高において4割を占める重要なマーケットでもあります。

アセアン経済共同体をはじめとする環境変化をきっかけとして、シークスは、アセアン域内における更なる成長戦略の実現、またその他地域におけるグローバルベースでの今後の「ブロック化経営」を睨み、その第一弾としてアセアン統括室(室長:片岡潤一)を設置しました。

アセアン統括室は、会長・社長の直轄組織であり、アセアン域内の①情報、②金融、③調達、④システム、⑤人材という5つの機能を統括し、コントロールする役割を担います。

このような統括拠点を置く地として、情報共有・税制・部材調達・ファイナンス機能など、さまざまな面においてメリットがあり、アセアン域内の他の国々とのアクセスも良いシンガポールを選びました。同国は中国やヨーロッパといった、東南アジア以外の地域ともコミュニケーションが活発であり、アセアン域外を含めたグローバル・ビジネスを強化する意味でも、アセアン統括室の果たす役割は大きいと考えられます。

### ※アセアン(ASEAN: 東南アジア諸国連合)

インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの10か国で構成される地域協力機構。

### ※アセアン経済共同体(AEC)

アセアン10か国による広域経済連携の枠組み。域内の貿易自由化や市場統合などを通じて、成長の加速を目指す。

## 製造拠点、消費地としての魅力

アセアンがヨーロッパと顕著に異なっている点として、国々の多様性があげられます。政治体制や経済面、税制面においても、人種や文化においても国による違いが大きく、多様な個性を持つ国が混在する地域だと言えます。

このようなアセアンは、豊富な労働力に恵まれていることに加えて、若年層が人口に占める割合が多いことから、製造拠点として大きな魅力を持っています。さらに、インドネシアやフィリピンなど多くの人口を擁する国々については、消費地としての成長も期待されています。中でも、アセアン域内で近年、ナンバーワンの経済成長を遂げているフィリピンは、製造拠点としても消費地としても有望だと考えられます。

### アセアンを中心とした、シークスの歩み

1957年 創業	1957年	阪田商会（現・サカタインクス）貿易部に輸出係を設置 フィリピン向けに日本製電子部品の輸出を開始
	1960年	フィリピン マニラに初の駐在員事務所を開設
	1963年	タイ バンコクに駐在員事務所を開設
	1972年	シンガポールに駐在員事務所を開設
1992年7月 サカタインクス インターナショナル(株) として分社化	1979年	シンガポールに合併会社を設立し、基板実装事業を開始 当社EMS事業の先駆けとなる
	1988年	タイで基板実装事業を開始（現在の当社主力工場となる）
1998年7月 シークス(株) と改称	1997年	フィリピンに電子部品、機器等の販売・物流のための 子会社 Sakata Inx Logistics (Phils.) Inc.を設立
	1999年	インドネシア バタムに100%出資のEMS工場 PT SIIX Electronics Indonesiaを設立
	2010年	インドネシア ジャカルタに100%出資のEMS工場 PT. SIIX EMS INDONESIA を設立
	2013年	フィリピン ラグナ州カランバ市に100%出資のEMS工場 SIIX EMS PHILIPPINES, INC. を設立
	2014年	フィリピン ラグナ州カランバ市にプラスチック成形・金 型製造工場 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. (合併会社)を設立

我々のお客様としては、アセアン地域の国々では日系企業が中心です。ただし、バタム地域（インドネシア）は例外であり、ヨーロッパ系のお客様が多い傾向にあります。

お客様の業種についても、国によって違いがあります。タイでは、自動車業界をはじめ、民生部門にさまざまな業界の大手のお客様がいらっしゃいます。一方、フィリピンでは、自動車産業のビジネスは発展途上であり、ファックス、プロジェクターといった情報機器関連のビジネスに強みがあります。インドネシアでは、自動車、オートバイなど内需向けの製品に関連した需要が旺盛です。

## グローバル・ビジネス・オーガナイザーとして

このようにアセアンは多様な国々の集まりであり、市場も各国で異なる状況にあります。シークスは、アセアン域内を国ごとに捉えるのではなく、アセアン全体で捉える「ブロック化経営」を推進します。

この方向性は、シークスの企業理念である「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」とも合致しています。



当社のアセアン地域における基幹工場 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD.



フィリピンの当社EMS工場に隣接する成形・金型製造工場 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC.

電子部品等の部材調達代行、EMSや成形・金型製造のサービスは媒体にしかすぎず、それ自体が事業の最終目標ではありません。特定の地域やモノ、技術にとらわれることなく、グ

世界中のシーズを探し出して把握し、組み合わせ、お客様に満足いただける最適の形でお届けする——それが、シークスの目指す姿です。当社が提供する電

ローバルな視点でシーズとニーズを見て、最適な組み合わせを提供することが、シークスのビジネスの本質であり、シークスが成長を続けるためのエンジンなのです。

だからこそ、アセアン域内においても、国ごとにビジネスを展開するのではなく、アセアン地域をひとつのブロックとして捉え、要所、要所に横串をさしていくように、舵をとっていくことが重要だと考えられます。今後は、スタートを切ったばかりのアセアン経済共同体やアセアン諸国の動向をしっかり見据え、これまでに築き上げてきた人脈を活用しながら、お客様とともに新たなビジネスの創造に携わっていきます。

## 株主様へのメッセージ



村井 史郎 代表取締役会長

私や桔梗社長をはじめ多くのスタッフが世界中を飛び回り、現地との信頼関係を深めることで、グローバル・ビジネス・オーガナイザーとして事業を展開しています。今後も、地政学的なリスクを踏まえながら、当社にとって追い風となる「フォロウの風」をつかみ、アセアンなど世界中で付加価値の高いビジネスを創造していきます。



桔梗 芳人 代表取締役社長

アセアンは活気にあふれた地域であり、製造拠点、消費地、情報の発信基地として、大いに期待を寄せています。アセアン統括室の設置を皮切りとした「ブロック化経営」は、アセアンから出発したシークスが、次のステップへ進化するための取り組みです。どうかこれからのシークスにご期待ください。



片岡 潤一 アセアン統括室長

アセアン共同体の戦略目標に「単一の市場、生産基地」とあるように、今後、域内の物流や市場が変化し、大きく成長していくことが予想されます。生産年齢人口の比率が高く、非常に若いマーケットであることもアセアンの魅力だと言えます。このような時代の追い風を受け止め、ビジネスをもっと成長させていきたいです。

# シークスグローバルネットワーク

幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界13カ国に約40ヶ所設置しております(2015年12月末現在)。

電子 (欧州)	(百万円)	
	第23期 2014年12月	第24期 2015年12月
	6,500	7,637

- ⑧ SIIX Europe GmbH ●
- ⑨ SIIX EMS Slovakia s.r.o. ▲

電子 (アジア)	(百万円)	
	第23期 2014年12月	第24期 2015年12月
	136,812	143,658

- ⑩ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. ●
- ⑪ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Dalian Branch ◆
- ⑫ SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. ▲
- ⑬ SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. ▲
- ⑭ SIIX (Dongguan) Co., Ltd. ■★
- ⑮ SIIX H.K. Ltd. ●
- ⑯ SIIX TWN Co., Ltd. ■
- ⑰ SIIX Bangkok Co., Ltd. ●
- ⑱ SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. ▲
- ⑲ SIIX Phils., Inc. ■
- ⑳ SIIX Logistics Phils, Inc. ●
- ㉑ SIIX EMS PHILIPPINES, INC. ▲
- ㉒ SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. ▼★
- ㉓ SIIX Singapore Pte. Ltd. ●
- ㉔ PT SIIX Electronics Indonesia ▲
- ㉕ PT. SIIX EMS INDONESIA ▲
- ㉖ PT. SIIX Trading Indonesia ■★



セグメント別売上高構成比

電子(米州)

23,936百万円  
10.7%

電子(欧州)

7,637百万円  
3.4%

電子(アジア)

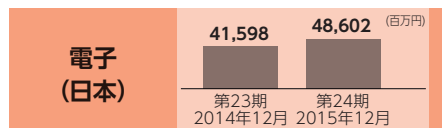
143,658百万円  
64.2%

電子(日本)

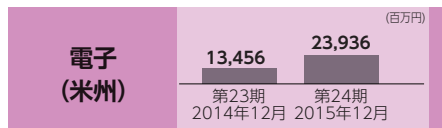
48,602百万円  
21.7%

売上高  
223,834百万円

※連結売上高235,035百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない11,201百万円等が含まれております。



- ① シークス株式会社
- ② シークスエレクトロニクス株式会社



- ③ SIIX U.S.A. Corp.
- ④ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch
- ⑤ SIIX MEXICO, S.A DE C.V. ★
- ⑥ SIIX EMS MEXICO, S. de R.L. de C.V. ★
- ⑦ SIIX do Brasil Ltda. ★

主な事業内容

- 電子部品等の販売・物流
  - 電子部品等の販売
  - 各種基板実装および  
機器・部品の組立・加工
  - プラスチック成形および金型製造
  - 支社・駐在員事務所
- ★は非連結子会社

5月

美的集団中央空調事業部との  
合併会社設立

5月5日に中国の大手家電メーカーである美的集団中央空調事業部と合併会社を設立いたしました。中国市場でのビジネス基盤を強化するとともに、美的集団の成長戦略とのシナジーを追求してまいります。

8月

フィリピン製造子会社  
TS16949取得

フィリピンの製造子会社SIIX EMS PHILIPPINES, INC.が自動車産業品質規格TS16949を取得いたしました。今後本格的に車載関連事業に対応してまいります。

1月

当社に関する書籍  
「グローバル・ビジネス・  
オーガナイザー」発刊

村井会長、桔梗社長が共著にて執筆し、当社の成り立ちやビジネスモデルなどをまとめています。当社特有の事業構造や経営に対する考え方をわかりやすく解説し、事業活動の変遷、成長の要因に迫っています。全国書店にてお買い求めいただけます。

2015年

2016年

6月

自己株式処分及び  
新株予約権付転換社債発行  
による資金調達

自己株式の処分(市場への売出し)と新株予約権付転換社債60億円を発行することにより、約100億円の資金調達をいたしました。調達した資金は、メキシコ工場の増強、美的集団中央空調事業部との合併会社への投融資、各工場の既存設備の更新及び増強等に活用いたします。

1月

## アセアン統括室設置

ASEAN経済共同体(AEC)の始動に伴い、当社のマザーマーケットの一つであるアセアン域内の各拠点の更なる成長戦略の実現、その他地域におけるグローバル・ベースでの今後の「ブロック化」を睨み、シンガポールにアセアン統括室を設置しました。当社の掲げる「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」のビジネスモデルをより強固なものとしていく所存です。

# 株式の状況

Situation Of The Stocks

# 役員 の 状況

Officer

## 株式・株主の状況

2015年12月31日現在

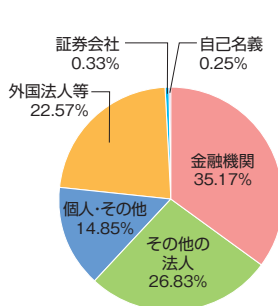
発行可能株式総数 ..... 80,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 25,200,000株  
 当期末株主数 ..... 5,517名

### [ 大株主 ]

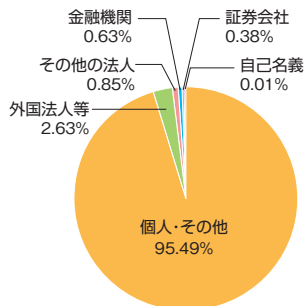
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカティンクス株式会社	5,406,000	21.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,984,400	7.87
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS	1,633,200	6.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,610,800	6.39
有限会社フォーティ・シックス	1,100,000	4.37
株式会社りそな銀行	1,077,400	4.28
株式会社三井住友銀行	997,400	3.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	994,000	3.94
村井 史郎	700,000	2.78
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	541,448	2.15

※上記のほか当社所有の自己株式64,000株(0.25%)があります。

### [ 所有者別所有株式数 ]



### [ 所有者別株主数 ]



(2016年3月30日現在)

代表取締役会長 執行役員	村井 史郎	
代表取締役社長 執行役員	桔梗 芳人	
取締役 執行役員	岡田 雅夫	東京第一営業部長 兼 東京第二営業部担当 兼 東京営業開発部担当 兼 資材統括部担当 兼 シークスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長 兼 インドネシア地域担当 兼 PT.SIIX EMS INDONESIA 担当 兼 PT.SIIX Trading Indonesia 担当
取締役	高谷 晋介	仰星監査法人 代表社員、理事長
監査役 (常勤)	東尾 茂郷	
監査役	畠山 浩司	サカティンクス株式会社 常勤監査役
監査役	石橋 正紀	税理士法人石橋会計事務所 所長 西宮市包括外部監査人 株式会社京都銀行 社外監査役
執行役員	岩武 孝明	フィリピン担当 兼 SIIX Logistics Phils, Inc. マネージングディレクター 兼 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC. マネージングディレクター
執行役員	大野 精二	経理部長
執行役員	外山 正一	シンガポール地域担当 兼 PT SIIX Electronics Indonesia担当 兼 SIIX Singapore Pte. Ltd. マネージングディレクター
執行役員	好川 浩	東京営業開発部長
執行役員	松下宇一郎	名古屋営業部長 兼 中国担当 兼 SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. 担当 兼 SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 理事長
執行役員	吉田 明生	大阪営業部長 兼 美的プロジェクト担当 兼 台湾担当
執行役員	友田 雅之	総務部長 兼 情報システム部担当
執行役員	村上 正樹	北米地域担当 兼 SIIX U.S.A. Corp. マネージングディレクター
執行役員	柳瀬 晃治	欧州地域担当 兼 SIIX EMS Slovakia s.r.o. 担当 兼 SIIX Europe GmbH マネージングディレクター
執行役員	中村 晃	中南米地域担当 兼 SIIX EMS MEXICO, S. de R.L de C.V. マネージングディレクター
執行役員	於保 慎哉	SIIX EMS PHILIPPINES, INC. マネージングディレクター
執行役員	丸山 徹	経営企画部長 兼 秘書室長
執行役員	浦谷 行信	タイ地域担当 兼 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. 担当 兼 SIIX Bangkok Co., Ltd. マネージングディレクター
執行役員	藤田 達雄	グループ技術統括担当 兼 シークスエレクトロニクス株式会社 グループ技術統括部長 兼 SIIX EMS MEXICO, S de R.L de C.V. 工場長
執行役員	平岡 和也	香港担当 兼 SIIX H.K. Ltd. マネージングディレクター

※取締役のうち、高谷晋介氏は社外取締役です。

※監査役のうち、畠山浩司氏、石橋正紀氏は社外監査役です。

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
基準日 定時株主総会 毎年12月31日  
期末配当金 毎年12月31日  
中間配当金 毎年6月30日  
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
(ホームページURL)

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

証券コード 7613

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

### 証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

### 証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいますが)を開設しております。上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

## IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをお知らせします。ご希望の方は、当社のWebサイトIR関連サービスのページ(<http://www.siix.co.jp/ir/irnewsml/>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。



この冊子は植物油インキを使用しております。

## 会社概要

(2015年12月31日現在)

商号 シークス株式会社  
設立 1992年7月1日  
資本金 2,144百万円  
従業員数 個別 149名  
連結 10,352名  
拠点 大阪本社、東京本社、名古屋営業部  
証券コード 7613  
URL <http://www.siix.co.jp/>

## 株主優待

### ギフトカード

■対象:毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上の当社株式を保有の株主様

内容(お一人あたり)	
10単元(1,000株)以上	3,000円分のギフトカード
5単元(500株)以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元(100株)以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。  
※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

### タイ旅行

■対象:1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様  
※[1年以上連続保有の株主様]とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。

■内容:当社の主力事業であるEMS(電子機器受託製造サービス)に対する理解を深めていただくことを主眼に、当社基幹工場・タイ工場の視察を含むタイ旅行に、抽選で10名の株主様をご招待いたします。(毎年1回)

## 配当推移

	第22期 2013年12月	第23期 2014年12月	第24期 2015年12月
配当金(円)	32	34	42
配当性向(%)	22.7	19.4	15.2